

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	福祉除雪、除雪ボランティアについて
状 況 等	<p>身体的に自力での除雪作業が困難であり、かつ、同居人に除雪可能な人がいない高齢者のみの世帯や身体障がい者等の世帯について、市役所職員で構成する福祉除雪を実施しています。基本的には玄関から道路に接する部分までの敷地内となります。なお、作業は生命に危険がある場合を除き、後日の実施となります。詳しくは、お近くの民生委員または地域福祉課までご相談ください。</p> <p>また、福祉除雪のほか、市社会福祉協議会ゆいづくり事業、自治会、県立大学のボランティア、地域の民生委員や有志の方も除雪支援をしており、現在それぞれの活動の協力体制を整える仕組みづくりについて、市社会福祉協議会と協議を進めています。</p>

件 名	ボランティア活動について
状 況 等	<p>ボランティアを必要とする人と活動したい人を円滑に結びつけることを目的に、市では市社会福祉協議会に補助し、ボランティア活動センター事業を実施しています。しかし、ボランティアの登録、コーディネート及び派遣調整など課題も多いことから、今後ボランティア活動がより機能するように市社会福祉協議会と協議、検討を進めて参ります。</p>

件 名	社会福祉協議会の募金について
状 況 等	<p>市社会福祉協議会の募金についてのご提言については、市社会福祉協議会にお伝えいたします。</p>

件 名	障がい福祉の様式のダウンロードについて
状 況 等	<p>障がいサービスの利用については、利用者との相談や資格審査が必要なもの、事業所との調整等が伴うものも多いことから、これまでホームページに載せておりません。今後、調整等の必要がないものなど、ホームページに載せることができる様式等について検討いたします。</p>

件 名	民生委員について
状 況 等	<p>民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱されている委員です。現在、市には民生委員が92名おり、それぞれの担当地区で活動を行っています。</p> <p>民生委員の職務については、民生委員法の規定により、住民の生活状態を必要に応じて適切に把握し、援助を必要とする者が自立した日常生活を営むことができるように生活に関する相談に応じ、助言や福祉サービスを利用するための情報の提供などの援助、関係機関との連携等が主なものとなっています。このことから、民生委員の任用にあたっては、地域を理解している方をお願いするため、自治会に推薦を依頼しております。</p> <p>また民生委員は、要援護者の私生活に立ち入ることから、知り得た秘密を守る義務を負っています。市といたしましては、今後も民生委員と連携を密にし、より一層民生委員活動を支援して参ります。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

<b>部 名</b>	健康福祉部	<b>課 名</b>	地域福祉課
<b>件 名</b>	発達障がい児の支援について		
<b>状 況 等</b>	障がい者支援施設は、これまで盛岡広域圏の中で、特に需要が多い盛岡市を中心に整備され、利用されてきました。最近では滝沢市内に所在する障がい児通所施設等も、徐々にではありますが増えてきております。市としては、今後も障がい児への支援を含め、福祉の推進に努めて参ります。		
<b>件 名</b>	生活相談について		
<b>状 況 等</b>	地域福祉課では、さまざまな困りごとをはじめ、生活相談に対応しております。また、専門的な相談が必要な場合は、無料法律相談のご紹介もしておりますのでご相談ください。		
<b>件 名</b>	ボランティア養成講座について		
<b>状 況 等</b>	ボランティア養成講座については、これまでも市の補助事業として、市社会福祉協議会が、手話入門、障がい疑似体験学習指導ボランティア養成、音声訳ボランティア入門、福祉有償運送運転ボランティア養成、要約筆記ボランティア入門講座等を実施してきました。27年度は、これに加え、障がい者外出介助ボランティア入門、バリアフリー(障がい者理解)入門講座を実施します。また、新たに、手話奉仕員養成研修事業を、岩手県聴覚障害者協会に委託し実施する予定です。		
<b>件 名</b>	買い物支援について		
<b>状 況 等</b>	市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者等を対象とした、買い物支援事業「まごころ宅急便」を実施しています。詳細については、市社会福祉協議会にご相談ください。		
<b>件 名</b>	福祉ボランティアまつりについて		
<b>状 況 等</b>	福祉ボランティアまつりは、市社会福祉協議会の事業ですので、ご提言については市社会福祉協議会にお伝えいたします。		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	生活福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	生活保護受給者の不適切な自動車使用について
状 況 等	生活保護受給者は、障がいや勤務時間、勤務先の場所等による公共交通機関が利用困難である等の一部例外を除き、原則として自動車の使用は認められておりません。 不適切な自動車の使用については、実態を確認の上、指導を行ってまいります。

件 名	生活保護受給者のギャンブル等の浪費について
状 況 等	生活保護費のギャンブル等による浪費につきましては、必要に応じて指導を行ってまいります。

件 名	子が自立する前に親が定年した場合に生活が苦しい場合の支援策について
状 況 等	貴重なご提言ありがとうございます。 生活福祉課では、生活困窮による生活相談を行っておりますのでご利用ください。

件 名	滝沢市の生活保護の要件が甘いのではないか。また、生活保護受給者の指導を徹底しているか。
状 況 等	生活保護は、生活保護法に基づく国の制度であり健康で文化的な最低限度の生活水準を維持することを保証するとともに、その自立を助長することを目的として実施されており、滝沢市独自の基準を定めて実施することは出来ないこととなっております。 生活保護受給者に対する指導は、家庭訪問等により、生活状況を把握し、必要な助言や指導を実施しているところです。

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
件 名	保育施設の充実、待機児童の解消について		
状 況 等	<p>近年の核家族化の進行、経済情勢や子育て世代の女性の就労等など、子どもと家庭を取り巻く環境が変化しており、子育てを社会全体で支援していくが必要になってきています。このような状況の中で、地域でのこども・子育て支援の充実を図るために、「子ども・子育て関連3法」が制定され、平成27年度からは、「子ども・子育て支援制度」がスタートしました。新制度においては、市町村が実施主体の役割を担い、地域のニーズに基づき平成27年度から平成31年度までの5年計画を策定しています。保育施設の充実、待機児童の解消については、この計画に基づき充実に努めてまいります。</p>		
件 名	保育園保育料の軽減について		
状 況 等	<p>保育料は、保護者の世帯の所得の状況に応じて、それぞれお支払いいただくことになっており、その保育料の額は、国の定める基準額を上限として市町村が定めることとなっております。本市では、国が示した基準額よりも軽減を図るため、独自に基準表をつくり市の予算からも負担して保育料を下げるよう努めてきたところですが、平成27年4月から施行された子ども・子育て支援新制度の施行に合わせ、保育料の見直しを実施し、子育て世帯の負担軽減を図るために更なる軽減を図ったところであります。</p> <p>また、同時に2人以上入所している場合に適用される国基準による保育料の軽減のほか、市単独の軽減制度として、同一世帯内の第3子以降の児童は半額としております。</p>		
件 名	児童館や児童センターを設置することについて		
状 況 等	<p>本市においては、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象として放課後児童健全育成事業(学童保育クラブ)を実施しており、現在のところ全児童を対象とする児童館や児童センターの整備は計画しておりません。</p>		
件 名	学童保育クラブの保育料を軽減することについて		
状 況 等	<p>本市には16の学童保育クラブがあり、うち12クラブが父母会、4クラブが社会福祉法人等による運営となっております。保育料については、それぞれの父母会や法人がクラブの実情に応じて決定していますが、他市町村の学童保育クラブの保育料と比較して特別高い料金設定とは認識しておりません。学童保育クラブの運営は国、県及び市の負担による委託料と、運営経費に対する保護者からの保育料によって運営されておりますので、保育料の負担についてご理解、ご協力をお願いいたします。</p>		
件 名	子育てしやすい、親子が参加できる場所の設置について		
状 況 等	<p>子育て支援の1つとして地域子育て支援センターを市内4か所に設置し、0歳から就学前の親子、妊婦さんに利用していただいています。子育ての情報提供や育児相談も行っていますので、利用者同士の情報交換も行われています。また、1歳から就学前までのお子さんと保護者を対象に滝沢ふるさと交流館でわんぱく広場を開設し、お子さんを自由に遊ばせながら、同年代のお子さんを持つ親同士、交流や情報交換ができる場を提供しております。</p>		
件 名	保育所入所手続きについて		
状 況 等	<p>窓口での対応については、かねてから不快感を与えることの無いよう厳しく申し合わせているところですが、ご不快な思いをさせたことにつきまして、心よりお詫び申し上げます。今後、このようなご指摘を頂かぬよう、接遇の向上に努めてまいります。</p> <p>保育園の入所手続きについては、書類及び聞き取り等により保育の必要な状況を確認させていただいております。その状況を市の基準により審査し、各保育園の受入可能枠に合わせて、毎月の入所審査会において優先度の高い順(保育の必要性が高い順)に決定しています。</p> <p>求職活動中の方の保育所利用については、希望する保育所の定員充足率が一定の基準内にある場合には、期間を限定して(3か月)入所決定しています。なお、定員充足率が基準を超えている場合は、入所保留の取扱いになります。</p> <p>なお、就労に関しましては、1日4時間以上かつ月12日以上を最低条件としており、要件に満たない場合は、求職活動中の取扱いになります。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	高齢者支援課
件 名	介護施設の拡大、増設等を		
状 況 等	高齢者が住みなれた地域で長く暮らし続けられることは望ましいことです。様々な高齢者の状況、高齢化の進展に対応した介護施設等の整備も大切であり、平成27年度から3か年の第6期介護保険事業計画において、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所の民間による整備を計画していますが、市直営による整備は計画していません。		
件 名	睦大学、福祉バス、お山の湯の継続を		
状 況 等	市では、健康で元気な、そして「いきがい」のある社会をめざすために睦大学の充実が必要であると考えており、みなさんがいきいきと睦大学に通う中で、地域の仲間、元気な学生を増やしたいと考えています。また、福祉バスのことも含め、市内幹線バス網の整備を検討しています。お山の湯については、今後の施設の維持・継続の可能性を探るためにも、使用料を見直し、市民のみなさまにも一定の負担をお願いすることとしています。		
件 名	高齢者にやさしく充実したサービスを		
状 況 等	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援がきれめなく連携してサービスを受けることのできる「地域包括ケアシステム」の推進に取り組み、地域包括支援センター、民生委員、自治会などの地域の力、医療や介護関係機関、警察、消防、ライフライン、宅配事業者など、地域社会に存在する様々な資源と連携し支援して参ります。今年度は、「在宅医療と介護の連携」と「認知症対策」について、医師会等の医療関係者や介護関係者と連携協力して、取り組みを強化してまいります。		
件 名	日常生活の安心見守り		
状 況 等	滝沢市社会福祉協議会では、電話回線を使って毎日の様子をボタンを押すことで発信し、発信の無い場合に安否確認を行う「お元気発信システム」を運用しており、お申込みいただければご利用いただけます。また、市役所では、住民税非課税等の条件がありますが、簡単な操作で見守りセンターに緊急を知らせることのできる「緊急通報装置」の貸与を行っています。		
件 名	社会保障(介護保険)についての情報提供を		
状 況 等	介護保険サービスに関する概略的な情報としては、第1号被保険者となる65歳到達時にパンフレットをお送りしていますが、市役所高齢者支援課又は地域包括支援センターの窓口等でパンフレットの提供その他の情報についても提供させていただいています。また、職員が地域に出向いて説明する機会も設けています。		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	医療施設について
状況等	<p>滝沢市内には、2つの病院と19の診療所、21の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科・耳鼻科・眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、住民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>救急医療についても、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により、休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により、盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。</p> <p>また、岩手医科大学付属病院が矢巾キャンパスへ移転後も、既存施設を活用した初期救急を含めた病院機能を維持する予定となっています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂ながら、各事業を継続して参りたいと考えていますが、市として病院を設置することは、現在、考えていないところです。</p>

件 名	検診について
状況等	<p>検診については、循環器系の特定健診と各種のがん検診がありますが、特定健診については、ご自身が加入している医療保険者において実施する事となっており、滝沢市国民健康保険に加入している方については、市として毎年実施しています。また、がん検診については、胃腸病、大腸、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん検診をどこでも受ける機会の無い方を対象に毎年実施しています。</p> <p>ただし、子宮がん、乳がん検診については、国からの通知および有効性に関するガイドラインに基づき、隔年での実施ですが、これは全国的なものになっております。</p> <p>仕事をしている方については、職場で実施している検診が優先されますが、職場で実施していない検診については、市で実施する検診を受診して頂くことは可能です。</p> <p>特定健診と前立腺がん検診は個別で、子宮がん、乳がん検診は集団と個別で実施していますので都合の良い時間に指定された医療機関で受診可能です。また、胃腸病、子宮がん、乳がん、肺がん検診は、日曜日にも実施しています。</p> <p>1日で全ての検診を実施したい方には、1日人間ドックに対する助成も行っており、こちらについては、盛岡市内の医療機関も対象になっています。</p> <p>毎年、5月5日号の広報と一緒に保存版として「検診だより」を全戸配布しておりますので参考にして下さい。</p>

件 名	健康づくりについて(体操等)
状況等	<p>健康づくりの一環として、市民みんなで体操をすることは理想的なことです。</p> <p>体操に限らず、市民の皆さん一人一人が「自分の健康は自分で守る」という意識を持って、主体的な健康づくりに取り組むことにより、健康な地域、健康な滝沢市になっていくものと考えています。</p>

件 名	
状況等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
件 名	将来、年金が受給できるかの不安について		
状 況 等	国民年金につきましては、安定した運営のために様々な改革が行われており、国の責任において安定した制度の維持が図られるものと考えています。		
件 名	年金の保険料が高くて支払えない人が多い件について		
状 況 等	現在、国民年金保険料の納付率は他の年金制度の納付率に比べて低下傾向にあります。保険料は国民年金制度の基盤となるものであり、納付率の低下は、制度の運営に支障をもたらすことから、国では、保険料の納付免除や猶予など、保険料を納めることが経済的に困難な方に対する対策を講じ、納付率の向上及び無年金者の発生を抑制に努めています。 なお、国民年金保険料の納付に関する相談は、市役所保険年金課でも受け付けています。		
件 名	寡婦医療費給付制度の創設について		
状 況 等	当市の医療費給付事業は、岩手県が補助事業として実施するものを対象としており、寡婦の皆さんを対象とした医療費給付事業は実施しておりません。 医療費給付事業の拡充に対するご意見を多くいただきますが、医療費が毎年増加する中、市単独の財源による新たな医療費給付事業の導入につきましては、市の長期的な財政状況を踏まえ慎重に検討して参ります。		
件 名	妊産婦の方に対する医療費の無料化について		
状 況 等	妊産婦の方に対する当市の医療費給付事業は、岩手県の補助基準に基づき実施しています。 医療費給付事業の拡充に対するご意見を多くいただきますが、医療費が毎年増加する中、市単独の財源による医療費給付事業の拡充につきましては、妊産婦以外の医療費給付事業対象者の状況を考慮するとともに、市の長期的な財政状況を踏まえ慎重に検討して参ります。		
件 名	子どもの医療費給付事業の拡充について		
状 況 等	医療費給付事業の拡充に対するご意見を多くいただきますが、医療費が毎年増加する中、市単独の財源による医療費給付事業の拡充につきましては、子ども以外の医療費給付事業対象者の状況及び他の子育て支援策とのバランスを考慮するとともに、市の長期的な財政状況を踏まえ慎重に検討して参ります。 なお、就学前の子どもを対象とした医療費給付事業につきましては、受給者負担額の減額や所得制限の廃止を市単独事業として実施しており、また、平成27年8月診療分からは、入院にかかる医療費給付事業の対象を小学生まで拡大することとしております。		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
件 名	社会保障の充実について		
状 況 等	<p>医療保険と年金に関しましては、それぞれ社会保障の柱の一つであり、当市といたしましても安定した国民健康保険制度及び高齢者医療制度の運営、また、国民年金制度の啓発に今後とも努めてまいります。</p>		
件 名	子どもの医療費、保険について		
状 況 等	<p>子供の医療費の自己負担につきましては、国の制度で就学前の子どもは2割負担、それ以外は3割負担となっています。</p> <p>当市では、就学前の子どもを対象とした医療費給付事業につきましては、受給者負担額の減額や所得制限の廃止を市単独事業として実施しており、また、平成27年8月診療分からは、入院にかかる医療費給付事業の対象を小学生まで拡大することとしております。</p>		
件 名	医療費の払い戻しについて		
状 況 等	<p>医療費の払い戻しについては、例えば、1か月間の医療費が高額になり自己負担額が一定の金額以上になった時に、基準額を超えた部分が支給される制度や、コルセットなど治療用装具費及び医師が認めた場合の針灸マッサージなど施術費の保険者負担分が支給される制度などがあります。</p> <p>医療費の自己負担額の払い戻しにつきましては、市役所保険年金課にお問い合わせください。</p>		



平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
-----	-------	-----	----------

件 名	自治会役員及び自治会活動のあり方について
状 況 等	自治会役員につきましては、後継者不足のため、同じ方が長期にわたり役員を務められている場合がありますが、自治会によっては、任期毎に交代されている例もあります。また、ご夫婦で働かれている世帯を含め、若い世代の方が役員に就くことは難しい現状ではありますが、役員をはじめ、地域活動に若い世代の方々が参画できるような環境をつくることも重要と考えています。 様々な課題は、自治会連合会と協議しながら、今後の自治会活動のあり方を踏まえ検討し、若い方々の意見も届く自治会を目指すとともに、独居の高齢者世帯が増えることに伴い、班長を行うことが厳しくなる方も想定した地域活動の展開について、継続して協議していきたいと思っております。

件 名	地域活動を通じた地域の交流について
状 況 等	地域の活動は、地域の自主性により行っているものです。ただし、全地域に関わるような課題については、自治会連合会や自治会長研修等でも検討していただきますが、地域のことは、地域でのお話合いにより決めていただいて、活動を継続していただくことが原則であり、その活動に行政も支援してまいります。その地域活動の中で工夫を凝らし、隣近所の方との交流や世代間交流が進められることにより、地域の輪も更に広がるものと感じております。また、様々な活動に市の担当部署職員も一緒に活動することも大切なことだと考えております。

件 名	住民自治の推進について
状 況 等	住民自治を進める上で、地域の方々が主体的に活動していただくことが大切です。その活動計画として、昨年度、市内11地区において、市民の皆さんの参画により第一次滝沢市総合計画基本計画地域別計画を策定していただきました。ぜひ、お住まいの地域が、どんな計画を立て、これからどんな活動をするのか参考にいただき、まずは、お住まいの自治会の活動に、積極的に参加していただければ幸いです。

件 名	滝沢市役所前の事業(交流拠点複合施設)について
状 況 等	現在、市では、平成28年度中のオープンを目指し、市役所前に交流拠点複合施設の整備を進めています。この施設は交流を生み出す拠点とし、市民のみなさんの学習、交流、市民活動の活性化を目的としたものであり、施設には、図書館、ホール、大中小の会議室、和室、クッキングスタジオ、キッズルーム及び、観光、ブランド発信に向けた、農産物、工芸品等の展示販売や食を提供するレストランが整備されます。市民の皆さんに色々な形でこの施設を積極的にご利用いただき人とのつながりが広がり多様な市民活動の核にしていきたいと考えております。

件 名	集会所の新設及び維持管理について
状 況 等	集会所の新設については、補助金制度がございますが、敷地の問題や市の予算の関係もありますので、現時点では、すぐに対応をできないのが現状です。維持管理についても、ある程度の規模については、補助金制度により地域の負担もいただいて対応できますが、予算状況をみながら、優先順位をつけての対応になりますので、早急な対応ができるものは限りがあります。小規模のものは、管理する地域の自治会長とも協議しながら対応させていただきます。

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	多目的研修センターの避難所について
状 況 等	滝沢市が指定している避難所は、火山災害、水害、その他地震等の災害に区分しているところです。地域防災計画の見直しを行っておりますが、平成26年に、多目的研修センター近傍の沢が警戒区域に指定されたことから、今後は多目的研修センターを市の指定避難所から除き避難所を篠木小学校に集約とすることといたしました。

件 名	防災について
状 況 等	市内に発生する災害として、地震、風水害及び岩手山の噴火を想定しております。東日本大震災以降、施設整備や防災用品の準備、各自主防災組織を含めた防災訓練を行ってまいりました。引き続き災害に対応できるように物心両面からの準備を行ってまいります。

件 名	防災行政無線について
状 況 等	防災行政無線の運用につきましては、様々なご意見を頂いておりますが、災害が発生した場合、災害の規模や位置、状況等を把握し、いち早く正確な災害情報を市民の皆様に伝達する必要があります。現在市では、既存アナログ防災無線の老朽化に伴うデジタル防災無線への更新事業を行っており、より確実な情報の伝達に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。 なお、市HPには、放送内容を掲示しておりますほか、携帯メール配信システム「いわてモバイルメール <a href="http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/">http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/</a> 」を活用し、登録者の方へ防災行政無線の放送内容を配信しております。また今後は、準備が整い次第、電話着信による防災行政無線の放送内容の自動録音メッセージをご案内するサービスを開始する予定です。

件 名	交通安全対策について
状 況 等	交通ルール(スピードの出しすぎ、迷惑駐車など)の指導につきましては、市内交通安全関係団体及び交番・駐在所と連携し、交通安全意識の高揚と交通マナーの向上を図るとともに、違法情報につきましては、速やかに警察に通報のうえ情報を共有し交通安全対策を推進して参ります。

件 名	防犯灯の設置要望について
状 況 等	防犯灯の設置要望につきましては、各自治会の状況に応じて、毎年、設置要望を提出していただいております。これらの要望を受け、毎年30箇所程度の整備を進めており、市内全体で約5,600箇所を設置しているところです。今後とも、予算の範囲内ではありますが、優先順位を定めながら防犯灯の設置を推進して参ります。 また、管理につきましても、各自治会からの修理・交換要望を受け、予算の範囲内で故障箇所の修理を進めており、今後も環境負荷軽減と省エネの観点から防犯灯のLED化を推進して参ります。

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	交通安全施設(信号機、横断歩道など)及び交番新設等の要望について		
状 況 等	<p>信号機、横断歩道の設置及び交差点の改善や交通規制につきましては、各自治会及び学校からの要望を取りまとめ、所轄の警察署を通じて公安委員会に毎年要望書を提出しております。</p> <p>ただし、信号機等の設置に関しては、県内全体の状況を把握した上での優先順位となり、数年継続しても中々実現できない箇所もありますが、今後も継続して要望して参ります。</p> <p>警察署や交番新設の要望につきましては、各自治会からの要望として、毎年当市から警察へ要望いたしておりますが、今後も継続して要望して参ります。</p>		
件 名	安心して暮らせるまちづくりについて		
状 況 等	<p>安心して暮らせるまちづくりにつきましては、市内の自主防犯団体、少年補導員、自治会防犯部等において、自主的に防犯パトロールが実施されているほか、交番、駐在所に対して不審者通報等を速やかに行い巡回を依頼しております。</p> <p>また警察から当市および周辺地域での犯罪情報の提供を受け、防災無線による広報を実施する等盛岡西警察署と緊密な連携体制のもと、市民が安心して暮らせるまちづくりを推進して参ります。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
件 名	火葬場、公園墓地が必要		
状 況 等	<p>市内に火葬場を建設してほしいというご意見ですが、施設建設や維持管理には多額の費用が必要になることから、現在は、市町を超えて利用できるこのような施設については、広域施設で利用するという考え方をしています。</p> <p>このため、平成24年10月から火葬費用が3万円を超えた場合、2万円を上限に、超えた額について補助を行い住民の負担軽減を図っています。</p> <p>次に墓地についてですが、市内には、寺院墓地がほとんどですが、未使用区画が4,500区画ほどあります。その中で公園墓地は3,500区画ほどありますので、新たに公葬地を整備する予定はありません。</p>		
件 名	野焼きについて		
状 況 等	<p>県条例において、ゴミの焼却は禁止されていますが、稲わらなどの焼却は認められています。しかし、住宅地での野焼きは苦情が多いことから、周辺住民に迷惑をかけないよう早朝に行うなど、農業者に配慮してもらうよう定期的に応報等での周知に努めています。</p>		
件 名	近所でペットのうんちをとらない人がいるので対策を考えてほしい。ペットを飼う人を教育する機会をもうけてほしい。		
状 況 等	<p>犬や猫に限らず、ペットを家族の一員として見ている方がほとんどであると考えています。しかし、一方で動物が苦手な方や、モラルの無い飼い主もいるということも事実です。</p> <p>ペットと共存しやすいまちづくりには、ペットを飼っている方一人ひとりが動物が苦手な人もいることに配慮し、動物を飼うことのマナーについて考えていくことが不可欠であると考えております。</p> <p>市では広報誌等による啓蒙や各自治会からの要望があれば、立て看板の配布、更には犬の飼い方教室の開催や、飼い主への指導をすることで、ペットを飼うことのモラル、マナーの向上に取り組み、引き続き人とペットが共存しやすい環境を目指しています。</p>		
件 名	野良猫の対策について		
状 況 等	<p>猫は餌付けしている人がいなければ、一般的に自然にいなくなると言われています。地域で協力し合い、猫の餌になるものを屋外に置かないことが、有効な対策になると思います。</p>		
件 名	悪臭について		
状 況 等	<p>悪臭苦情が寄せられた場合は、市では当該事業所等へ苦情内容を伝えておりますので、情報をお寄せください。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
件 名	自然豊かな所が気に入っています。環境へ対しての配慮は今まで通り継続してほしい		
状 況 等	<p>空気については、県が観測を行っていますし、河川の水質検査は、市が行いそれぞれのホームページ上で公表しています。また、環境を守るために、森林の保全や下水道の整備などに努めてまいります。</p> <p>市では、平成25年3月に策定した第2次環境基本計画に基づき、自然環境や生活環境を守り維持するため、環境ボランティアや地域活動を支援し、環境保全活動の活性化を促すことで、住民、事業者、市が協働、連携し環境保全にかかわる施策を積極的に展開して参ります。</p>		
件 名	ゴミ焼却場が別の所に移動するようですが焼却の時に発生する熱の利用の方法について無駄にするのではなく効率的な利用方法について行政はまじめに考えることを願います。		
状 況 等	<p>ゴミ焼却場については、滝沢市を含む3市5町で1つの施設に集約する広域化処理の基本構想が策定されており、今後設備内容等についても検討されていく予定となっております。</p> <p>基本構想の方針として、環境保全に配慮し、環境への負荷軽減、災害対策強化を踏まえた廃棄物処理システムを目指しております。</p>		
件 名	近くの工場で、木材の切りくず、石こうボード片、コンクリート片、ブロック等を埋立て駐車場に使っている。		
状 況 等	情報をお寄せください。		
件 名	ごみの分別が簡単で助かっています。		
状 況 等	資源化できるものについての分別につきましては、今後とも推進していきたく考えております。皆様のご協力をお願いします。		
件 名	自然が豊かと考える人もいるがゴミが多く捨てられている。現在は少ないがゴミ焼却施設から黒い煙が出ていた。		
状 況 等	不法投棄につきましては巡視等により発見や通報等に努めております。何かお気づきの点がありましたら滝沢・雫石環境組合までご連絡をお願いします。また、当組合の施設からは黒い煙が出ることはありません。		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	課 名	環境課(滝沢・雫石環境組合)
-----	-----	----------------

件 名	ゴミ捨て場も遠い。もっと増やしてほしい。
状 況 等	ごみ集積所の管理は各自治会になっています。町内会等で話し合いをしていただいて場所を増やすことについては可能と考えております。

件 名	ゴミ収集場をふやして、年齢と共に場所まで持参は遠すぎ困ってます。
状 況 等	ごみ集積所の管理は各自治会になっています。町内会等で話し合いをしていただいて場所を増やすことについては可能と考えております。

件 名	ゴミステーションの青い網をなんとかして欲しい。せんたくバサミで、止めるので風が吹くと外れるし、いちいちはずしたりはさんだりしなければならないのでとても面倒です。(黄色い方がカラスが来ないと聞きました)
状 況 等	ごみ集積所の管理は自治会になっております。形状についても各地区で相談していただいて決定をしておりますので町内会等で話し合いをしていただいて変更することはかまいません。場所が変わらなければ特に変更の手続きは必要ありません。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	市民課
-----	-------	-----	-----

件 名	盛岡市のように住民票の自動交付機を設置してほしい。
状 況 等	自動交付機の設置予定はありませんが、住民基本台帳カード及び平成28年以降の個人番号カードを利用したコンビニエンスストアでの交付が全国的に推進されているところです。機器やソフトウェアの導入・維持に多額の費用が必要となることから普及状況や費用対効果を考慮し、今後も検討を続けて参ります。

件 名	住民票など土日も受けとれるシステムがあるととても助かります。
状 況 等	市では、平日の日中にご本人様や同一世帯の方から電話予約をいただくことで住民票の写しと印鑑登録証明書の土日曜日等の交付を行っていますのでご利用くださるようお願いいたします。 また、毎週水曜日は午後7時まで、市役所本庁舎と東部出張所で住民票の写しや戸籍の謄抄本、印鑑登録証明書の交付などを行っておりますのでこちらのほうもあわせてご利用くださるようお願いいたします。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	東部出張所
-----	-------	-----	-------

件 名	東部出張所の業務拡大について
状 況 等	<p>現在、東部出張所においては、住民基本台帳・戸籍関係の諸証明書の交付、住民異動届の受付、税務諸証明書の交付及び市税等の公金収納、市役所各課の届出書類の取次ぎを行っておりますが、地域内人口の増加、各制度の複雑化に伴い年々取扱い件数が増加しております。また、市に移行したことにより取扱い業務も増大しております。</p> <p>限られた事務室スペース・人員で対応していることから、金融機関方式の機の配置や、専門職員を配置しさらに業務を拡大することは困難であります。いただいたご意見を参考に、よりよい窓口サービスに努めてまいりますのでご理解をお願いします。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	



平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

<b>部 名</b>	都市整備部	<b>課 名</b>	都市計画課
<b>件 名</b>	景観(自然、環境)について		
<b>状 況 等</b>	<p>岩手山をはじめとする豊かな自然、そして岩手山麓から連なる田園風景は、滝沢らしさを代表する景観であると考えています。景観に関する規制は、地域により異なり、現在は市内の盛岡環状線、東北自動車道の岩手山麓側が岩手県景観計画で景観重点地域に指定されております。建築規制にかかる事務は、県が主となり、景観法や県条例のもと、色彩や高さなどの基準を定め広域的に行っています。基準委基づく指導や規制はありますが、最終的には各建築手続きの中で、建築主の判断と意思として、全体の景観が保たれる制度となっています。</p> <p>市では景観形成基本方針を平成27年3月に定めました。今後は滝沢らしい景観の保持形成をするために必要な施策や行動について、市民の皆様と一緒に考えて参ります。</p>		
<b>件 名</b>	滝沢市の都市づくり(都市計画)について		
<b>状 況 等</b>	<p>本市の都市づくりは、平成27年3月に策定した市総合計画や市都市計画マスタープランにおいて、その将来像を設定しました。現在、市役所前では、交流拠点複合施設の整備が進行しており、将来は市役所や総合公園とともに公共施設群を構成します。都市づくりにおいては、市役所周辺を「中心拠点」と位置付け、また、市内の鉄道駅や国県道の交通要所を「交通結節拠点」と位置付け、各地域の特徴を生かした都市づくりや、地域間の連携を考えています。岩手山に象徴される雄大な自然や農村風景と共生する本市の都市づくりは、市民の方々の貴重なご意見を逐次反映させながら、長期的に取り組んでいくものと考えます。</p>		
<b>件 名</b>	都市計画区域制度について		
<b>状 況 等</b>	<p>本市は、昭和45年度から都市計画制度を適用し、盛岡市や矢巾町とともに、広域的に都市計画区域を設定しています。都市計画区域には市街化区域と市街化調整区域があり、市街化区域は、市街化を促進する地域として公共下水道工事などが行われますが、調整区域は市街化を抑制するため一定の建築制限があります。これらの区域は、おおむね5年毎に見直されます。区域が変更される時のポイントは、農地や自然の保全、人口増減の動向、宅地開発の実現性、既存の市街化区域の連担性などの総合的判断であり、県や国も一緒にありかたを考えます。都市計画区域制度は、広域の観点からの住みよいまちづくり制度であることのご理解をいただきたいと思ひます。建築などのご相談には、個別に対応して参ります。</p>		
<b>件 名</b>	市営住宅について		
<b>状 況 等</b>	<p>市営住宅は平成9年度と平成10年度に建設された戸建住宅10棟を一本木地区に有しております。H27年3月では満室の状態ですが、今後、空き室があり次第、HPなどで公募します。本市には盛岡近郊としてマイホームを求められた方々が多かったことや、本市への通勤等に一定の時間を要するとしても自動車やアパートが普及したことから、結果として市営住宅が少ないままで現在に至るものと考えています。増設については、大変申し訳ございませんが現在のところは計画がなく、長期的な財政計画の中で検討して参ります。</p>		
<b>件 名</b>	公園の整備について		
<b>状 況 等</b>	<p>現在、市では総合公園のほか、宅地開発による公園など約190箇所を管理しております。もっと身近に、遊具等の整った公園や、小中学生が遊べる公園などが欲しいというご要望が多数ございます。現時点においては新たな公園緑地の整備計画がなく、今後の長期財政計画の中で検討いたします。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市計画課
件 名	公園の管理・総合公園ロックガーデンについて		
状 況 等	<p>公園の管理は通報やパトロールで対応しております。通報が事故防止の貴重な情報源となりますので、異常をみつけたときはぜひご連絡をお願いします。また、その他のご要望についても、確認の上で対応を連絡いたします。遊具については、古いものの交換等を年次計画で実施いたします。ただ、一般的な遊具であっても大変高価であることから、市内全体の公園の中で必要性が高いものから順次の対応となります。</p> <p>総合公園ロックガーデンは岩洞ダムの農業用水を水源としているため、長距離を流れる途中で土や草などのごみや雨水が混入する環境です。ロックガーデンは、用水のろ過・殺菌処理をしながら運転していますが、用水の流入量に追いつかない場合があります。本施設の水質は周辺河川と同等です。適正なご利用をお願いしたいと思います。</p> <p>今後も、幼児から高齢者の方々まで幅広く多くの方が利用できるよう、施設の安全管理と適正な利用方法についての周知を図って参ります。</p>		
件 名	空家対策について		
状 況 等	<p>少子高齢化や人口一極集中に伴う空家は全国的に増加しており、空家の増加や老朽化は、倒壊、火災、防犯、衛生、景観などにおいて周囲に影響を与えます。今までは市町村が独自に条例を制定して対応していましたが、平成26年に空家対策特別措置法という法律ができたので、滝沢市ではこの法律に基づいた対応をすることとなります。課題としては、財産権利が憲法で強力に保障されていることから、法律ができたとしても自由に立ち入って調査することや、市が強制することがなかなか困難なことなどです。本市では、空家に対しどのような対策を講じることができるのかを、個別具体的に取組み、皆さんにお知らせし、警察や消防なども協力して危険性の高い重要なものから対応する必要があるものと考えます。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	市道の除雪について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(通称赤線等)について除雪を行っております。</p> <p>○除雪のタイミングが悪い 市道の主要路線につきましては、午前7時完了を目標に行っておりますが、降雪状況により除雪に長時間を要した場合などで、各地区間での除雪時間差等が生じ、各家庭で除雪した後に除雪車が入った場合もあり、ご迷惑をおかけしたこともあったと認識しております。除雪作業は、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより、大きく完了時間は左右されますが、初期除雪の徹底など作業業者と連携して、スムーズな除雪を進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。なお、平成26年度は各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど試行錯誤しながら、地域にあった除雪が行えるよう努力しております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度など地区により差が生じている 市内を地区分けし、業者に委託して除雪を行っており、地区により降雪状況がことなる場合があることから 地区毎に出動を指示する場合がありますため地区により除雪回数に差が出るがありますが、作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○圧雪凍結での段差など危険箇所の解消と幅員の狭い道路の除雪 道路が凸凹とならないよう均一的に作業を進めるほか、交差点やカーブなどは見通し悪化に配慮するなど、各地区の積雪特性や重要ポイントなどを整理検討し、冬季間の交通安全を確保しています。</p> <p>また、幅員の狭い道路につきましては、安全確保のため雪の寄せ方等の工夫により少しでも幅を確保できればと考えていますので、地域の皆様と情報交換を重ね、より良い除雪を進めていきたいと思っております。</p> <p>○私道などの除雪対策 私道の管理は所有者や使用者によることとなっております。私道への支援として、一定の要件はありますが除雪費の補助行っておりますのでご利用ください。</p>

件 名	市道の施設改良について
状 況 等	<p>滝沢市の道路整備計画により、効率的かつ効果的な整備を目指しております。</p> <p>○歩道の整備促進 施設改良の際に歩道を設置しているほか、小学校などの教育施設周辺から、交通安全対策として順次整備を進めております。</p> <p>なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 幹線市道と国・県道の整備、市総合計画等と整合した一体的整備が必要な箇所について、優先的に進めております。</p> <p>また、側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っているほか、低騒音・排水性舗装なども進めております。</p>

件 名	市道の維持管理について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物(通称赤線等)について、維持管理を行っております。</p> <p>また、舗装の全面補修や側溝の設置など費用のかさむ工事については、滝沢市の道路修繕計画の中で、緊急性や危険度を検討し順次整備を進めています。</p> <p>○市道維持管理全般 管轄する道路等について、日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修等は現場で行うなど迅速化を図っています。しかしながら、市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間で把握することは難しいため、道路を利用される皆様からの情報提供をお願いいたします。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	県道について
状 況 等	<p>○主要地方道盛岡環状線 盛岡環状線は広域的な主要幹線道路であり、市内においては重要な生活道路として利用されていますが、特に国道4号分岐交差点から国道46号までの区間は、県内外からの大型車の通過交通が多く、交通混雑が慢性化しているとともに、幅員の狭小や線形の不良などにより危険な区間が多く重大な交通事故も発生しています。 このことから、管理者である岩手県に対し継続的な改善要望を実施しており、現在市内において3工区約1,400mの道路改良事業が実施されているところですが、引き続き危険箇所等の情報提供を行いながら、未改良区間の早期事業化を強く要望してまいります。</p> <p>○県道盛岡滝沢線 盛岡方面から主要地方道盛岡環状線までの区間について、管理者である岩手県に対し道路拡幅、歩道整備を要望しており、平成25年度から1工区約750mの道路改良事業が実施されているところですが、二順目の岩手国体の開催を控え、さらに事業の促進を要望してまいります。</p>

件 名	国道について
状 況 等	<p>○国道4号 国道4号盛岡北道路(盛岡市茨島跨線橋～滝沢分岐交差点)については、関係市町村による「国道4号盛岡北道路整備促進期成同盟会」を組織し、国に対して整備促進と財源確保の要望活動を継続してきたところですが、平成27年度に4車線供用開始の予定となっています。</p> <p>○国道282号 一本木地区のバイパス工事が進められ暫定開通していますが、引き続き岩手県に対し早期の全線開通を要望してまいります。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	交通政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	市内の公共交通について
状 況 等	<p>滝沢市の公共交通については、公共交通空白地域の増加や、高齢者の移動手手段の確保が課題となっております。また、路線バスと駅の連携を強化するなど、駅の利用を促進して地元鉄道を維持するとともに、市が行う福祉バス、患者輸送バスを含めた総合的な交通計画を模索する必要があります。</p> <p>今後は、更なる高齢化に伴い自動車を運転できなくなる方の増加が予想されることから、高齢化に対応した交通システムや市全体の持続可能な公共交通のあり方について検討して参ります。</p>

件 名	バス関連
状 況 等	<p><b>・路線バスのダイヤ・運行本数などについて</b>          滝沢市は盛岡市と同じ生活圏ということもあり、市内のバス路線は盛岡市中心部への連絡を主に発達しておりますが、市役所への連絡をはじめ市内地域間を連絡するバス路線は少ない状況にあります。</p> <p>路線バスは需要と運行経費のバランスにより維持されておりますが、バスの利用者数は自動車の普及や少子化等の影響により全国的に減少が続く一方で、運行経費を左右する便数等については採算性を考慮した運行となる現状にあります。現在、市内を走る路線バスの運行本数については、県内では盛岡市に次いで多く運行されている状況となっておりますが、地域の足を守るという観点からも今後とも積極的なご利用をお願いいたします。市としてもバス事業者等と課題を共有しながら、利用しやすい効率的な運行の調整に努めて参ります。</p> <p><b>・市内を結ぶバスについて</b>          市内の各地域間と市役所を連絡する路線については、過去に利用者が少なく廃止に至った路線もあり、継続的な運行の確保が難しい現状にあります。</p> <p>市では、各地域と市役所を連絡するバスとして、どなたでも乗車できる「福祉バス」を月、金曜日に運行しております。</p> <p>今後は、交流拠点複合施設の開設に併せて市内各地域から市役所周辺を連絡する幹線バス網の運行計画について検討して参ります。          (※「福祉バス」の詳細はホームページをご覧ください。)</p>

件 名	スマートインターチェンジの建設について
状 況 等	<p>スマートインターチェンジについては、利便性の向上や渋滞緩和、地域経済活動の基盤整備、救急医療支援、観光振興など、様々な整備効果が期待されております。平成25年6月に国から市道茨島土沢線(ガスタンク付近)への接続許可が下り、現在、平成31年3月末の供用開始に向けて取り組んでおります。</p>

件 名	大釜駅・巣子駅駐車場関連
状 況 等	<p>大釜駅・巣子駅駐車場は、自家用車と(駐車)と鉄道またはバスを組み合わせる「パークアンドライド」を目的に3日間まで無料で4日目以降は1日につき500円の有料となっております。入庫時間は5時から22時までで、それ以外は駐車状況についてパトロールを実施しておりますことから、今後とも、駐車場の適正利用が図られるように周知や指導等を行ってまいります。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	河川課
-----	-------	-----	-----

件 名	私達の地区は通学区域になっているが歩道が狭く道路を歩くので川に蓋をして歩道にして欲しい。
状 況 等	現況を確認のうえ、必要な場合は関係各課(学校教育課、道路課)と連携のうえ改善していきたいと思ひます。

件 名	鮭が来るきれいな川への草刈りなど
状 況 等	市が管理する普通河川については、支障がある場合除草や木の伐採を行なっておりますが、管理範囲が広く予算も限られていることから、市内全域に行き渡らない状況となっております。そこで、一部の河川については、地元自治会等のみなさまと連携して、伐採や刈払い等をお願いしております。今後も住民の皆様のご協力を頂きながら、河川環境の整備を進めて参りたいと思ひます。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道経営課
-----	-------	-----	-------

件 名	水道料金が低い																
状況等	<p>水道事業は、地方公営企業法が適用され、受益者負担の原則による独立採算制を基本に経営されております。水道料金は、学識経験者や公募で選出された方々を委員とする水道事業経営審議会にて水道事業の経営内容と水道料金のあり方を審議し、議会の議決を受けて決定されます。</p> <p>水道料金の金額は、水道水を作ってお客様にお届けするための費用と老朽化する水道施設の更新など事業を継続するために必要な施設の整備資金が確保できるよう設定されています。</p> <p>盛岡市周辺の市町村との料金比較については、水道料金の算定条件が異なりますので一概に比較できません。参考比較として、13ミリ、20ミリそれぞれの口径において10㎡、20㎡使用した場合の盛岡市との料金比較は以下のとおりとなりますので参考としてください。</p> <p>比較は以下のとおりです。</p> <p>(1) 口径13ミリで10㎡使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>1,829円</td> <td>1,533円</td> </tr> </table> <p>(2) 口径13ミリで20㎡使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>3,349円</td> <td>2,872円</td> </tr> </table> <p>(3) 口径20ミリで10㎡使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>2,179円</td> <td>2,181円</td> </tr> </table> <p>(4) 口径20ミリで20㎡使用した場合の水道使用料(消費税込)</p> <table border="0"> <tr> <td>滝沢市</td> <td>盛岡市</td> </tr> <tr> <td>3,699円</td> <td>3,520円</td> </tr> </table> <p>滝沢市の水道事業は、老朽施設の更新を実施しながら安全な水道水の安定給水を継続してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	滝沢市	盛岡市	1,829円	1,533円	滝沢市	盛岡市	3,349円	2,872円	滝沢市	盛岡市	2,179円	2,181円	滝沢市	盛岡市	3,699円	3,520円
滝沢市	盛岡市																
1,829円	1,533円																
滝沢市	盛岡市																
3,349円	2,872円																
滝沢市	盛岡市																
2,179円	2,181円																
滝沢市	盛岡市																
3,699円	3,520円																

件 名	水道料金の支払いについてクレジットに対応してほしい。
状況等	水道料金のクレジット払いは、それにかかる手数料の増加やセキュリティ対策含めた環境整備に経費が掛かることから今のところ導入の予定はありません。

件 名	
状況等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
-----	-------	-----	-------

件 名	水道水の消毒臭について
状 況 等	<p>水道水は、国の法令により塩素消毒が義務付けられています。</p> <p>滝沢市の上水道においては、塩素注入量の適正化とともに低減化に努めていますが、塩素臭以外の異臭味などを感じられた場合はご連絡をお願いします。</p>

件 名	水道水の味について
状 況 等	<p>滝沢市の上水道は、平成24年末から岩手山浄水場が稼働し、上水道における地下水の割合は90%を超えています。</p> <p>現在2か所の浄水場で表流水の浄水処理を行っておりますが、降雨等により原水水質が悪化した際は、表流水の取水を停止し、全量地下水を利用した浄水処理を行い水道水の水質向上に努めています。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	



平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
-----	-------	-----	------

件 名	下水道の整備について
状 況 等	<p>本市の汚水処理に係る人口普及率は平成25年度末で79.8%で、これは県内では10番目に高い率となっており、その内訳は公共下水道が63.9%、合併処理浄化槽が15.9%です。また、行政区域内人口に対する水洗化人口の割合は74.9%であり、これは県内では7番目に高い率となっています。</p> <p>一方、これらに費やした整備費用は昭和54年の着工以来36年間で約130億円となっており、今後仮に全体計画区域すべてを公共下水道で整備するとした場合、さらに約100億円が必要と見込まれています。しかし近年、国・県のみならず市の財政状況も非常に厳しい状況にあり、これら汚水処理に係る十分な財源の確保が困難となっていることから、公共下水道と合併処理浄化槽のそれぞれの長所を生かし、その他コスト縮減も行いながら、効率的に水洗化を進めることが求められています。</p> <p>このことから、平成26年度に市の汚水処理実施計画の見直しを行い、市の下水道事業の持続可能な経営と市内全域の早期水洗化を図ることに主眼を置き、今後概ね10年で優先的に公共下水道を整備する地区、その後10年間で公共下水道を整備するか合併処理浄化槽により水洗化を推進するかを市民との対話を経て検討する地区、公共下水道事業ではなく合併処理浄化槽による早期水洗化を推進する地区の3つに分けた計画に見直しを行いました。</p> <p>この計画見直しに当たっては、昨年に滝沢市下水道事業経営懇談会での審議や市内6箇所での説明会を実施し、平成27年1月には市役所や出張所、市のホームページで計画(案)を公表し策定したものです。</p> <p>平成27年度はこの計画について自治会単位等の説明会を予定しており、市民のみなさんと対話を行うことで相互理解を深め、これまで以上に公共用水域の水質保全と生活環境の改善へ向けた効率的な事業を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、地域間の負担の公平性に配慮し合併処理浄化槽設置への助成を大幅に拡大したほか、公共下水道が整備済みにもかかわらず接続していない未接続世帯の解消や、既に合併処理浄化槽を整備し水洗化している世帯の公共下水道への切り替えに対し、国庫補助事業導入により新たな助成制度も創設したことから、これらを利用していただくため、いろいろな機会を設け周知してまいりたいと考えております。</p>

件 名	生活排水の垂れ流しについて
状 況 等	<p>現在、滝沢市では公共下水道の整備されていない地域については、水洗化の促進を図るために合併処理浄化槽の設置に対して補助金を交付しています。これらの浄化槽を設置しないで未処理の生活排水を放流している住宅等があった場合は、浄化槽の設置について指導を行いますのでお知らせください。</p> <p>また、公共下水道事業区域内の未接続者に対しては、啓発活動と併せて今年度から創設した接続工事に対する助成制度の利用促進について周知を徹底し、早期接続を図ります。</p> <p>放流者がこれらの整備に着手するまでの間は、必要に応じて放流先の道路や水路の管理者、あるいは地元自治会等地域の方と協力しながら是正指導を強化し、地域の公衆衛生の保持を図ってまいります。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

<b>部 名</b>	経済産業部	<b>課 名</b>	商工観光課
<b>件 名</b>	道の駅の整備について		
<b>状 況 等</b>	<p>現在、市役所前に整備している交流拠点複合施設において、産直、特産品の取り扱いを予定しております。併せてその施設内で、滝沢市の観光情報の発信を行うよう進めているところであります。</p>		
<b>件 名</b>	商業施設関係について		
<b>状 況 等</b>	<p>大型のデパートやショッピングモールは、盛岡市内にあり、市内には立地されていない状況にあります。車で移動する人がほとんどであり、道路状況もよく10km前後と近いため、盛岡市内のショッピングモールやデパートで買い物をしており、このような状況で本市に大型ショッピングモールなどが立地されることは、現状では難しいものと考えております。</p> <p>また、宿泊施設につきましては、お山の湯の敷地内に、平成25年からモンゴル村が開所し宿泊施設が整備されたところでありますが、民間の活力を頂きながら進めて参りたいと考えております。</p>		
<b>件 名</b>	観光(全般)について		
<b>状 況 等</b>	<p>平成21年度に観光物産振興ビジョンを策定しており、観光振興物産の基本方針として、「固有のものを大切にする」、「物語を演出する」「美しさ、デザイン性を重視する」の3つの切り口として、資源ごとの展開方針を定め、推進することとしております。岩手山・鞍掛山等を中心にした自然系資源、チャグチャグ馬コや宮沢賢治を中心とした人文系資源、すいか・りんご・クイックスweet・岩魚等の物産系資源に分けて、観光振興を図って参ります。</p> <p>自然系資源における施設整備につきましては、自然を保護しながら観光ニーズを把握し、必要に応じて整備を検討して参りたいと考えております。</p> <p>物産系資源における特産品につきましては、季節販売と通年販売ができる商品開発をそれぞれ支援し、積極的にPRに努めて参ります。</p>		
<b>件 名</b>	チャグチャグ馬コについて		
<b>状 況 等</b>	<p>本市の観光を代表するチャグチャグ馬コにつきましては、「チャグチャグ馬コの里」として本市をPRするとともに、その維持保存に対して支援をして参っているところであります。また、各種イベントや市内の施設から要望を受け、チャグチャグ馬コを随時派遣しながら触れ合いの場を提供しております。更に市内には、岩手県の施設で「うまっこパークいわて」があり、乗馬体験や馬との触れ合いの場を設けております。</p> <p>今後も、チャグチャグ馬コの維持保存に向けた対策やふれあいの場を企画し、市民の認知度を向上させるとともに県内外にPRして参りたいと考えております。</p>		
<b>件 名</b>	イベントの開催について		
<b>状 況 等</b>	<p>市が実行委員会として関わりを持つイベントとしていたしましては、滝沢ニュータウンで開催される「チャグチャグ馬コまつり」や市役所駐車場で開催される「産業まつり」などがあります。また、地域で取り組むお祭りやNPO法人等が企画するイベントなど様々な形態で行われており、開催日も毎年固定化されたものや土日に行うものがあります。開催場所につきましては、イベントの大きさにより集客数を想定し、駐車場の確保や交通誘導が必要となることから、場所が限られて参ります。また、県などの施設を活用すると使用料が大きく負担となることから、係る経費分で開催内容が左右されることとなります。</p> <p>今後も市民が企画するお祭りやイベントを支援しつつ、市が関わるイベントにつきましては、アンケート調査などを参考に創意工夫など充実化を図って参りたいと考えております。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	商工観光課
-----	-------	-----	-------

件 名	雇用政策について
状 況 等	<p>東日本大震災以降、数々の経済対策により一部の雇用情勢は上がっているものの、一方では国内の資材単価が高騰するなど、中小企業の経営は厳しさを増している状況にあります。市におきましては、既存企業の強化を図るため中小企業振興資金の融資や利子補給など経営の安定化を図り、また、企業誘致など積極的に推進し雇用拡大に繋がるよう支援をしているところであります。</p> <p>シルバー人材センターにつきましては、運営費に対して助成を行い、高齢者の雇用の場の確保に努めて参っているところであります。また、市とセンターの連携強化を図り、取り組む事業の多様化を図って参りたいと考えております。</p> <p>更には、地域職業相談室の管理運営に努め、雇用情報の発信サポートを行い、雇用の場の確保に努めて参ります。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
-----	-------	-----	-------

件 名	雇用の場の確保について
状 況 等	<p>市では、市内経済が活性化すること、及び雇用の拡大を最重要課題としており、特に若者が家庭を持って地元で安心して暮らしていくため、働く場が充実していることが重要であると認識しております。そのようなことから、市内企業の事業拡充への支援や新たな企業の誘致に向け取り組んでいるところであります。</p> <p>市内企業への支援としましては、研究機関との共同研究等の開発に対し補助金を設置して更なる事業拡充等に対する支援を行っている他、企業間のマッチングを推進し、新たな事業の展開へと進めております。</p> <p>企業誘致につきまして、(独)中小企業基盤整備機構が所有しておりました盛岡西リサーチパークの未譲渡区画を平成26年4月に市が取得し、積極的に企業誘致を行い、平成26年度は2社3区画へ譲渡し、両社とも平成27年10月の操業予定であることから多くの新規雇用も見込んでおります。</p> <p>また、岩手県立大学に隣接し、平成21年に開所致しました滝沢市IPUイノベーションセンター(貸事務所)及び平成25年度に開所しました滝沢市IPU第2イノベーションセンターでは、積極的な誘致活動を行っており、平成26年度は5社の企業を誘致したところであり、岩手県・岩手県立大学との連携によるIT系をメインとした企業を誘致すべく、事業を進めているところであります。</p> <p>企業誘致につきましては、日本国内の自治体間の競争から、海外との競争に変化しております。そのような中において、滝沢市の強みを生かした企業誘致が必要と考えておりますので、今後も、大学、人材などの強みを生かした企業誘致を積極的に推し進めて参ります。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
-----	-------	-----	-----

件 名	産直の推進について
状 況 等	<p>「産直」は安全・安心な農産物を販売するだけでなく、直売所を通じて消費者と農家が直接コミュニケーションを図ることが出来る、地域活性化や地産地消の推進に必要な施設と考えております。現在、市内ではスーパーなどのインショップを含めると、およそ15店舗の産直施設があります。しかし利用しやすい店舗がない地域もあることから今後も出店等の支援を進めていきたいと考えております。</p> <p>ただ、乱立による弊害も考えられることから、消費者のニーズや地域の特性を見極めながら、それぞれの店舗での品質管理の徹底や向上、創意工夫が重要と思われるので、あわせて支援を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、H28年度に整備予定の(仮称)産業雇用創造センター内にも新たな産直施設を整備する計画ですので、既存の産直との連携も含めて検討しながら、市内産直及び地産地消の活性化を推進していきたいと考えております。</p>

件 名	市民農園の活用について
状 況 等	<p>市内では現在、「クラインガルテン柳沢」という市民農園が地域の方々の手によって開設、運営されており、非農家の方が土と触れあう場として大変好評を頂いております。また、耕作をされていない農地等の有効活用という点においても、市民農園は有効な手段の一つと考えております。</p> <p>今後、農業委員会等の関係機関とも協力し、地域の方々の要望等を踏まえながら、市民農園の活用について検討していきたいと考えています。</p>

件 名	農家の米の安定について
状 況 等	<p>米価が下がり続ける昨今、平成26年産米においては急激な米価下落となったことは、滝沢市の稲作農家にとって危機的な状況であると考えております。</p> <p>滝沢市では、農業経営が安定化できるよう、国の施策情報をいち早く農家にお伝えしていきたいと考えてをります。また、同時に、多角的営農を行うことで、農業所得の維持・向上ができるよう、農業者とともに検討していきたいと考えております。</p>

件 名	農業の後継者の育成支援について
状 況 等	<p>農業人口の6割を65歳以上の高齢者が占める現状において、農業を継承していく担い手の確保や育成は非常に重要な課題と考えています。</p> <p>滝沢市では、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化により、担い手の作業効率の向上やコスト削減を図っているほか、農業の経営改善を志す認定農業者等の意欲ある中心的担い手に対し、市農林課に在籍する農業経営指導マネージャーによる支援活動等を展開することで、持続可能な農業の実現を目指しています。</p> <p>そのほか、青年就農給付金制度により、青年の新規就農者に対して給付金を給付することで、青年就農者の経営の早期安定と就農の定着、新規就農者数の増加を図っています。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の対応が悪い
状 況 等	住民の皆さまへの対応をより良くするために、職員に対して窓口における指導、接遇研修などを実施しておりますが、苦情・ご意見をふまえて、皆様の立場を考えた対応が取れるよう、より一層取り組みを強化して職員の対応に満足していただけるようにいたします。

件 名	仕事の効率が悪い。税金の無駄遣いに気をつけてほしい。
状 況 等	これまで行政改革の一環として職員の削減を行ってきましたが、福祉事務所の設置、国・県からの事務移管等により、福祉関連の行政サービスを中心に需要が大きく伸びた分野等では、これまでの業務の効率化のみでは事務量の増加に対応しきれない状況となっており、必要最小限の職員や非常勤職員を増やし、行政サービスの低下につながらないよう対応してまいりますのでご理解をお願いいたします。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	<p>【アンケートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●質問が長い・抽象的で分かりづらい・同じような質問が多い。</li> <li>●アンケートのたびに毎回対象となる。本当に無作為なのか。</li> <li>●引越して間もなく、詳しいことがわからない。</li> <li>●アンケートの送料が勿体ない。経費をかけないようにしてほしい。</li> <li>●市民全員に行うべきと思う。</li> <li>●結果に基づき、何をどのように進めていくのか。</li> </ul>
状 況 等	<p>アンケートの調査内容は、第5次滝沢市総合計画の中で設定している「暮らしの最適化条件」を基に設定しており、最適化条件は、多くの市民の皆さんが参加した検討において、滝沢の将来像を実現するための想いを表したものである。</p> <p>調査項目は、そのように設定された最適化条件ごとの指標を、毎年定点観測することにより、過年度との比較を行い、市民の皆さんの生活環境、意識がどのように変化しているかについても取りまとめており、その推移・結果を市の施策へ反映させております。そのため、アンケートの質問項目については、設問数も多く、また、抽象的な質問もございますが、市民の想いが表れているものでございますので、ご理解をお願いします。</p> <p>また、対象者の抽出ですが、アンケート実施のたびに、市内にお住まいの方から3,000人を無作為抽出(地区・年代については考慮)しております。そのため、場合によっては転入されたばかりの方や、複数回ご協力をお願いすることもございます。対象者数については、必要最低限の経費の中で、調査の信頼性を担保する(一般的に確からしいとされる信頼度95%)ため、設定しておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>アンケート結果は、第5次総合計画で設定しためざそう値などの目標値把握などに用いられ、市が進めてきた10年間の取組の成果を明らかにする資料となります。その成果も踏まえ、今年4月からスタートしている第1次滝沢市総合計画の展開を進めてまいります。</p> <p>なお、新しい総合計画でも、設定した目標への進捗状況を確認するためのアンケート調査を秋に実施する予定ですので、対象者となった方はご協力をお願いいたします。</p>

件 名	<p>【広報・ホームページについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報・ホームページをもっとわかりやすくしてほしい。</li> <li>●子ども達も興味を持って読めるような広報にしてほしい。</li> <li>●滝沢独自の市政については、知らされていない点も多いと思うので、もう少し具体的に伝えてほしい。</li> <li>●市へ提出する申請書等はホームページに掲載してほしい。</li> </ul>
状 況 等	<p>広報たきざわに対するご提言ありがとうございます。現在、広報たきざわは、5日号と15日号の毎月2回発行となっています。</p> <p>5日号は20ページを基本とし、市政の方針や事業など、市民の皆さんにお知らせしたいさまざまな情報の提供をしています。15日号は6ページを基本とし、翌月のカレンダー(休日当番医や子どもの検診日程など)を折り込んだ「お知らせ版」となっています。そのように限られた情報発信の機会をより有効に活用するために、今年度、広報紙に関するアンケート調査を実施する予定です。アンケート結果を分析し、市民の皆様に一層親しまれる広報紙面の検討を進めてまいります。</p> <p>また、市ホームページでも各担当課から行政情報を提供しています。お問い合わせのあった申請書については、ホームページのトップページに申請書コーナーを設けていますので、ご利用ください。</p>

件 名	<p>【広聴について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の声の投函箱を市役所に設置してほしい。</li> </ul>
状 況 等	<p>市役所総合案内向かいに設置してございます。お気づきの点などありましたら、些細なことでもお寄せください。</p>

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	<p>【市の方針・ビジョンについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市政のビジョンが見えてこない。ほかの地域にないものをアピールしてほしい。</li> <li>● 住民自治日本一とは何か。</li> </ul>
状 況 等	<p>滝沢市では、平成26年1月の市制施行による団体自治の強化や、自治基本条例を頂点とする本市の将来像に向けた取組の体系化など自治能力の強化・拡充を進めてきました。</p> <p>さらに、今年度より、新しい総合計画のもと、「市民主体による幸福感を育む環境づくり」の基盤を8年間で構築することとしています。そのための行動計画となる4年間の基本計画では、市民が主体的に活動をするための「地域別計画」と、市行政がその活動をサポートするための「市域全体計画」により構成されており、市民が主体的に活動することをとおして、幸福感を育む環境の基盤を構築しようとしているものです。</p> <p>また、総合計画の中で、「住民自治日本一の市」とは、「住民自らが住みよい地域を考え、思いやりと協力の気持ちを持ち、地域や仲間と関わることに「満足」と「幸福感」を日本一実感できるまち。」と定義しております。</p> <p>具体的な活動方針や政策などは、第1次滝沢市総合計画として取りまとめたしました。内容は、市HPからも閲覧できるほか、市役所3階企画政策課、湖山図書館、東部出張所でも閲覧できます。また、平成27年4月に広報4月5日号にあわせて、基本的な考え方をまとめたパンフレットを全戸に配布いたしました。ほかにも、今年度中に市民フォーラムの開催などを予定しております。</p> <p>今年度は、自治基本条例を頂点とする滝沢市民全員が目指す将来像を実現するためのスタートとなります。ぜひ計画の内容についてご理解、ご協力をくださいますようお願いいたします。</p>

件 名	<p>【広域連携・地方創生について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域行政で、盛岡市に依存している部分が多く感じられる。</li> <li>● 地方創生が意味するものは、滝沢だけでなく、広い地域であり各自自治体が特色を持てる地域を目指すべき。その中で滝沢は何をするのか。</li> </ul>
状 況 等	<p>滝沢市は、その立地的、文化的要件から古くから盛岡市との密接な関係にある事をご承知のとおりです。それは現在でも市民の通勤・通学、事業活動においても一体性を有しており、一つのまとまった経済圏として「盛岡広域圏」を構成しています。今後は、国における「まち・ひと・しごと創生法」を受けて、それぞれの市町村において、地域特性を活かしながら地域づくりを進めていくこととなります。滝沢市においても平成27年度中に策定予定の地方版総合戦略の中で、「幸福感を育む環境づくり」へむけた施策を検討していきます。</p>

件 名	<p>【陸上自衛隊岩手駐屯地について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自衛隊の音と振動について</li> </ul>
状 況 等	<p>陸上自衛隊岩手山中演習場における砲撃演習の騒音等については、騒音が一定の基準を超えると判断された区域に対して障害を防止するために東北防衛局にて住宅防音工事助成を行っております。詳しくは、東北防衛局防音対策課へお問い合わせください。</p> <p>また、演習予定につきましては、随時市HPでお知らせしていますのであわせてご活用の上、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>



平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	<b>【市制について】</b> ●市になった良さが分からない。 ●市になるためのメリット・デメリットの説明がなかった。		
状 況 等	<p>メリットとしては、保健福祉分野における一部事務の権限移譲により、市制施行前は県を介していたサービスを直接提供できるようになり、利便性、迅速性、より地域の実情に即した行政サービスを行えるようになったことや、都市的なイメージが増すことで企業の誘致が促進され、雇用の機会の増加や財政基盤の強化などの波及効果も期待されていることです。また、住所の表示が簡略化し短くなってよかったとの意見も頂いております。</p> <p>市制施行は、基礎自治体としてのステップアップであり、基本的なデメリットはないと考えておりますが、市制施行時に住所変更手続きの手間をおかけしたことや、一時的な行政経費（電算システム変更経費、掲示・印刷物の変更など）は必要になりました。</p> <p>これらの内容については、市広報紙でもお伝えしたほか、市内30自治会での市政懇談会、また、お祭りやスーパーなどの人が集まる場所へ出向いての説明会など様々な機会を捉え、市民の皆様へのご説明をしております。引き続き、ご理解をお願いいたします。</p>		
件 名	<b>【市の窓口サービスについて】</b> ●窓口が閉まるのが早い。土曜日午前中は開けてほしい。 ●市役所を利用した際の待ち時間が長い。 ●市民課と保険年金課を一体化するなど効率的な仕事をしてほしい。		
状 況 等	<p>昨年度中に、市制施行による業務の増加に合わせたレイアウト変更の検討とともに、窓口のあり方について来庁者からもアンケートによりご意見を伺いながら、検討を進めてまいりました。</p> <p>その結果、勤務時間外の開庁時間の延長については、現在毎週水曜日夜に19:00まで、開庁時間の延長を実施していますが、認知度が低いこともあり、平成27年度は、夜間の窓口延長を周知を強化し、利用率を高めることで市民の皆様への利便性の向上を進めることとしております。意見のありました休日の開庁については、通常の時間外の窓口利用状況や費用対効果も含めて引き続き検討してまいります。</p> <p>また、昨年度の検討において、あわせて、待ち時間を快適なものとするための改善や、事務連携による効率的なサービスの提供について取り組んでおり、プライバシーへ配慮したカウンターの導入や案内表示の改善、椅子などの備品の更新も実施しており、引き続き、検討を進めてまいります。</p> <p>課ごとの業務の範囲については、今年度4月よりはじまりました総合計画の検討過程において、幸福感を育む環境の基盤構築を図るための効率的な組織の在り方を検討したものです。市民課と保険年金課については、転出入に係る保険手続など相互に関連のある業務を行っておりますので、引き続き、連携のとれた窓口サービスを行ってまいります。</p>		
件 名	その他のご意見等について		
状 況 等	<p>市の将来へ向けた多くのご提言やご意見をいただいております。そのどれもが滝沢市に住まわれている皆さんからの貴重な「想い」と考えております。</p> <p>いただいたご提言やご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住み良いところとなるよう、取り組んでまいります。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	財務課
件 名	財政運営、市税の使途について		
状 況 等	<p>市の予算、決算の内容については、ホームページ、広報等でお知らせしていますが、今後についても継続的、積極的に実施していきます。</p> <p>また、財政運営、市税の使途に関する事など、様々な提言、要望を受けとめ、経費全般について費用対効果を考え徹底した節減合理化に努めていきます。</p> <p>なお、現在の市の財政指標は、県内の他の市町村に比べ良好と言える状況であり、最低限この状態を維持できるようご意見等を傾聴しながら、将来にわたって持続安定した財政基盤を図ってまいります。</p>		
件 名	ふるさと納税について		
状 況 等	<p>ふるさと納税については、市でも平成27年度より本格的に推進していく予定としています。</p> <p>今後は、ふるさと納税に関する大手ポータルサイト等を通じた情報発信、及び、クレジットカード決済の検討等、納税環境の整備を進めていきます。また、返礼品については地元の農産物や特産品を活用して魅力的で付加価値が高いものとなるよう取り組んでまいります。</p>		
件 名	「滝沢村」の表示が残る個所について		
状 況 等	<p>市制移行にあたり、道路標識や施設看板、公用車等、普段から多くの方の目に付きやすいものを優先して「村」から「市」への表記の変更を行い、その他は表示板の交換時期等に合わせて順次進めることとしました。これは、全ての表記を「市」に変更するためには多額の経費が必要であったことから、市制移行によって生じる経費の部分は可能な限り抑えようとしたものです。</p> <p>このため、今後も引き続き表記の変更を進めてまいります。軽易な変更もれについては早期に取り組んでまいります。</p>		
件 名	庁舎敷地内の除雪について		
状 況 等	<p>庁舎敷地内の除雪については、通常、最初に庁舎前駐車場を行い、状況を見ながら庁舎裏、公民館前、そして公民館裏の各区画等に順次移動して作業を行っています。</p> <p>平成26年末の新聞記事の件では、同日は朝より公民館の使用予定があったことから、多くの方が積雪による交通渋滞や遅刻を考慮し早めに到着して駐車されており、除雪では車両との接触や人身事故等を避ける必要があるため、やむを得ず主に玄関前を始め通路の除雪となり一部に雪が残ったものです。</p> <p>なお、庁舎敷地内の除雪は、市保有機械を活用して、市職員が時差出勤により直営で作業を行い、極力経費を抑えながら行っています。今後お客様には極力ご不便をおかけしないよう除雪に努めてまいります。</p>		
件 名	職員用駐車場について		
状 況 等	<p>当市役所は、鉄道駅からは大きく離れており、バス路線は主に青山町方面からの路線に限られ、過去には菓子方面からの路線があり職員も利用していましたが不採算を理由に廃止された経緯があります。</p> <p>このため、多くの職員は通勤に公共交通機関を利用することが難しいことから、敷地内に職員用駐車場を用意しています。なお、自家用車通勤の市職員からは駐車場利用協力金を毎月徴収しており、協力金は駐車場の整備や維持管理等に充てて使用しています。</p>		

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	税務課
-----	-------	-----	-----

件 名	滝沢市になったら市民税が高くなって困っています。安くしてください。
状 況 等	<p>個人住民税の制度については、所得税の制度と同様に、年度ごとにいくつかの変更が行われる場合があります。平成24年度改正の16歳未満の扶養控除の廃止や、16歳以上19歳未満の扶養控除の上乗せ分の廃止、平成26年度改正の防災施策財源確保のための特例制度による均等割の増額などがそれにあたりますが、これらの大きな地方税制度改正が、市制施行時期に近い時期に行われたため、「市になって税金が上がった」という印象を持たれているのだと思います。</p> <p>近年、市民税の負担増が生じている事実は否定できませんが、その理由としては法令等の改正によるもので、市制施行の影響によるものではないという点について、ご理解いただきたいと思ひます。</p>

件 名	税金が高いので安くして(住民税をもっと安く)
状 況 等	<p>本市では個人住民税や固定資産税、軽自動車税などにつきまして、地方税法で定められた標準税率で賦課させていただいております。</p> <p>標準税率を下回る税率での課税については、様々な制限がかかる場合があるため、現在の制度においては難しい状況です。</p> <p>今後も適正課税を心掛けて参りますのでご理解とご協力を頂きますようお願い致します。</p>

件 名	臨時申告相談所における職員の態度、配置の人数について
状 況 等	<p>申告相談に対応する職員については、かねてから不快感を与えることの無いよう厳しく申し合わせているところですが、目の届かない範囲で至らぬ点が有ったかもしれません。ご不快な思いをさせたことにつきまして、心よりお詫び申し上げます。</p> <p>今後、このような指摘を頂かぬよう、厳しく律してまいりたいと思ひます。</p> <p>また、受付人数につきましては、会場や時間帯によっては、人数が多く思われることもあるかと思ひますが、基本的にはピーク時間帯に極端にお待たせすることが無いように考えた上で配置しておりますので、ご理解いただきますようお願い致します。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	収納課
-----	-------	-----	-----

件 名	税金のカード決済について
状 況 等	市税の納付につきましては、金融機関の口座振替、金融機関による納付書払い、郵便振替による払込となっておりますが、平成27年度より、コンビニエンスストア又は金融機関の納付書払いが可能となりました。また、事前登録によるモバイルレジの引き落としも可能となりました。 民間のカード決済は未だ利用できない状況ですが、手数料等の費用が市の負担となることから検討してまいります。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	会計課
-----	-------	-----	-----

件 名	指定金融機関の指定等について
状 況 等	<p>地方公共団体の出納事務は複雑多岐にわたり事務量も膨大となっていますので、公金取扱いの効率的運営と安全を図る観点から、熟達した金融機関を指定して、公金の取扱いをしていただいたほうが、本来の審査業務を限られた人員で確実にを行うことができるため、議決を経て新岩手農協様に指定金融機関をお願いしています。</p> <p>指定金融機関には、収納と支払の両方を取り扱っていただいております。指定代理金融機関や収納代理金融機関等の総括的役割も担っていますので、ノウハウの蓄積と継承も考慮し、効率的な事務運営に向けて今後とも指定金融機関のありかたについては、継続的な課題ととらえております。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	教育総務課
-----	----------	-----	-------

件 名	新設校について
状 況 等	滝沢中央小学校は、県内最大規模となっている滝沢小学校及び鶴飼小学校の規模の適正化を図り、児童の教育環境の整備を進めるため、平成29年度開校を目指して進めてきたところではありますが、財政的な理由から、最大2年、延長せざるを得ない状況となっております。平成27年度は、グラウンド等の整備を進めつつ、所期の目的を果たして参りたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
-----	-------	-----	---------

件 名	いじめ防止等への取り組みについて
状 況 等	<p>平成27年1月に「滝沢市いじめ防止等のための基本的な方針」を策定、あわせて平成27年3月に「いじめ防止等対策協議会設置条例」を制定しており、関係機関、家庭、地域住民の皆さんなどと連携しながら、いじめ防止等の対策を積極的に推進してまいります。</p> <p>また、学校と連携しながら悩みごとなどを気軽に相談しやすい学校環境づくりに引き続き取り組んでいくとともに、教育委員会では「すこやかテレフォン」を設置してさまざまな教育相談を受け付けています。</p>

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	生涯学習文化課
-----	----------	-----	---------

件 名	郷土芸能の保存と振興について
状 況 等	毎年開催している郷土芸能まつりでの発表やその他活動機会をとらえ、郷土芸能保存団体協議会と連携を図りながら、郷土芸能の保存と振興に努めています。

件 名	芸術文化の振興について
状 況 等	毎年開催している芸術祭や吹奏楽ジョイントコンサートの開催を通じて、芸術文化協会などと連携を図りながら、芸術文化の振興に努めてまいります。

件 名	歴史民俗資料館について
状 況 等	歴史民俗資料館については、市全体の施設整備計画や施設管理等の中で検討が必要と考えております。

件 名	図書館の施設整備、拡充について(図書館の整備、きれい勉強できる等図書館、蔵書の充実等)
状 況 等	図書館は、現在市役所前において整備中の複合交流拠点施設内に移転し、面積・蔵書数とも拡充される予定です。利用者にとって、より便利で、快適な図書館となるよう整備してまいります。

件 名	図書館の本の貸し出し冊数・ネット予約について
状 況 等	当館では現在、1人5冊まで2週間本を貸出ししており、限られた蔵書を多くの皆様にご利用いただくため、ご理解いただければと思います。また、毎年10月の読書週間には貸出冊数10冊までとしておりますので、ご活用いただければと思います。 インターネット予約については、既存システムの改修や人員体制が必要となるため、財政状況に鑑み、今後可能な範囲で検討させていただきます。 その他お困りの点等ございましたら、お気軽に図書館カウンターまでお申し出下さい。今後とも、より利用しやすい図書館を検討して参りますので、ご意見として参考とさせていただきます。



平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	スポーツ推進課・国体推進室
-----	----------	-----	---------------

件 名	スポーツに関する施設等の整備について
状 況 等	新たな体育施設の整備については、市全体の施設管理計画等に基づき検討が必要なものと考えております。既存施設の改修を適宜実施し、有効に活用することを考えて参ります。

件 名	子どもの体操クラブについて
状 況 等	滝沢市体育協会が主体となって運営しております総合型地域スポーツクラブであるチャグチャグスポーツクラブは現在14種目に渡って活動しており、その種目の一つに体操のクラブがございます。他の種目としてソフトテニス、テニス、野球、陸上競技、相撲、空手道、卓球、剣道、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ラグビー、女子サッカーがございます。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	議会事務局	課 名	
-----	-------	-----	--

件 名	議員定数の削減について
状 況 等	<p>議員の定数につきましては、制度上、市に移行したことにより増となることはありません。現時点では定員の増は考えておりません。</p> <p>なお、定数の削減につきましては、より効果的な議会を目的として平成26年から実施している「通年議会」により、議員の活動は今まで以上に広範囲に及ぶこととなり、人口5万5千人を有する市の議会として、市政の監視機能及び立法機能を十分に発揮するためには、現在の定数は必要な数であると考えております。</p> <p>議員の活動を今まで以上に透明化し、その活動に納得していただけるような「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」をめざしてまいります。</p>

件 名	市議会の報告で、秘密保護法案、集団的自衛権に係る採択結果に失望。
状 況 等	<p>市議会に提出いただきました請願につきましては、所管する委員会での慎重な審査、本会議での慎重な審議をしたうえで、議員個々の活動に基づく考えによる採決の結果として「不採択」となったものでありますので、ご理解をいただきたいと思ます。</p>

件 名	村政懇談会の折、市政に対する質問で職員の給料、議員の報酬が上がるのでは、と言う質問に市政をひいても何も変わらないと言うのが答えだったと思ますが議会では議員の報酬を上げる検討をしているようえす。そうしなければ人材が集まらないとの事でした。実際そうなのでしょうか、疑問に感じます。
状 況 等	<p>近年の地方議会の動向、社会情勢の変化に伴い、平成21年9月に、議員定数、議員報酬、政務調査費の3点について調査する「議会制度調査特別委員会」を設置し、人口規模などの他自治体との比較、住民アンケートなどを実施しながら、住民の代表機関としてのあり方などの観点も含め、11回の会議を重ね調査検討を行いました。</p> <p>また、平成24年3月には、市制移行を見据え、議員定数、議員報酬、政務調査費、議決事項、委員会のあり方、議会運営のあり方について調査する「市制移行に係る議会制度調査特別委員会」を設置し、11の会議を重ね調査検討を行いました。その結果、議員報酬については現状維持としており、平成12年度からアップしておりません。</p> <p>本市議会は「住民自治日本一」をめざす滝沢市の議事機関として卓越した議会をめざし、議会基本条例を制定して議会改革を進めています。議事機関として維持し続けるには、地域、年齢、性別、職業の壁を越え、価値観を共有する拡がりの中から、広く議員が選出されることが求められると考えております。また、通年議会に移行した本市議会は、二元代表制の一元として市民の負託に応えるため、より市民に開かれた状態で情報を提供し、市民の目線で合意形成と意思決定をしていく必要があります。滝沢市の未来を託す議員を安定的に維持確保するため、応分の議員報酬を担保しなければならないと考えております。</p>

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	農業委員会事務局	課 名	
-----	----------	-----	--

件 名	農地や自然をこわさないようにとくに田は大切です。
状 況 等	農地(田や畑)は農作物を生産するための基盤ですので、農地の管理については適切な指導対応に努めてまいります。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

平成26年度滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	選挙管理委員会事務局	課 名	
-----	------------	-----	--

件 名	郵便等での投票について
状 況 等	郵便での投票については、法律によって特定の条件を満たす方しか認められておりませんが、対象となる方に対して広報を通じてお知らせし、周知してまいります。

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	

件 名	
状 況 等	